

令和6年度

# わかりやすいかさまの予算

文化交流都市 笠間～未来への挑戦～

全国火災予防運動実施中



## はじめに

国においては、先に閣議決定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」により、引き続き、「物価高騰対策」、「賃上げの実現」、「企業の稼ぐ力の強化」などの取組みを進めていくこととしており、本市としても、国の政策に連動した「地域経済の基盤と稼ぐ力の強化」のための取組みを、迅速に進めてまいります。

一方、政府は、「人口減少問題」を日本社会の最大の戦略課題として、「少子化対策」に全力で取り組んでいくとしています。

本市にとっても、「少子化対策」は真っ先に取り組まなければならない課題であり、国の動きを注視しながら、本市独自の「子ども・子育て」施策を着実に進めてまいります。

このような市政を取り巻く状況を踏まえ、令和6年度は「未来に向けた笠間市づくり」を重点課題とし、「子ども・子育て」、「地域経済の強化」、「女性活躍」と、ここに「防災対策の強化」を加えた4つの重点プロジェクトを設定し、笠間市の将来に向けた成長と持続に資する取組みを進めてまいります。

笠間市の予算について、市民の皆様になめていただいた税金などが、どのように使われるのかをお知らせするため、「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政を目指してまいりますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和6年3月

笠間市長 山口伸樹

# — 目 次 —

I 予算の概要	1
II 重要事務事業	2
III 各会計の予算額	11
一般会計	11
国民健康保険特別会計	13
後期高齢者医療特別会計	13
介護保険特別会計	14
介護サービス事業特別会計	14
病院事業会計	15
水道事業会計	16
工業用水道事業会計	17
下水道事業会計	18
IV 基金の状況	19
V 市債の状況	20

# I. 予算の概要



令和6年度笠間市の予算規模（一般会計、特別会計及び企業会計予算の合計）は593億9,193万7千円であり、前年度と比較すると6億2,197万2千円（1.0%）の減となっています。

## 【令和6年度会計別予算状況】

（単位：千円、%）

会計名	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	比較 増減額	比較 増減率
一般会計	34,060,000	33,270,000	790,000	2.4
特別会計	16,669,000	16,377,000	292,000	1.8
国民健康保険特別会計	7,553,000	7,526,000	27,000	0.4
後期高齢者医療特別会計	1,214,000	1,077,000	137,000	12.7
介護保険特別会計	7,881,000	7,752,000	129,000	1.7
介護サービス事業特別会計	21,000	22,000	▲ 1,000	▲ 4.5
企業会計	8,662,937	10,366,909	▲ 1,703,972	▲ 16.4
病院事業会計	1,094,216	1,053,622	40,594	3.9
収益的支出	981,203	1,001,028	▲ 19,825	▲ 2.0
資本的支出	113,013	52,594	60,419	114.9
水道事業会計	3,392,023	4,368,208	▲ 976,185	▲ 22.3
収益的支出	1,708,189	1,751,350	▲ 43,161	▲ 2.5
資本的支出	1,683,834	2,616,858	▲ 933,024	▲ 35.7
工業用水道事業会計	29,579	28,472	1,107	3.9
収益的支出	29,579	28,472	1,107	3.9
資本的支出	0	0	0	-
下水道事業会計	4,147,119	4,916,607	▲ 769,488	▲ 15.7
収益的支出	2,299,632	2,388,449	▲ 88,817	▲ 3.7
資本的支出	1,847,487	2,528,158	▲ 680,671	▲ 26.9
合計	59,391,937	60,013,909	▲ 621,972	▲ 1.0

### ー口メモ① 『会計区分』

市町村では、お金の管理を『会計』で区分するんだよ。特定の事業を行う時は、『特別会計』を設置して事務を行うんだ。また、特別会計の中でも独立採算制方式で会計をする場合は、『企業会計』を設置するんだよ。

- 一般会計・・・税を主な収入として、福祉、土木、教育、衛生などの基本的な施策を行う会計
- 特別会計・・・保険料や使用料などの特定収入により、特定の事業を行う会計
- 企業会計・・・特別会計のうち事業収益により、事業運営を行う会計

## II. 重要事務事業

令和6年度は、エネルギー・食料品等の急激な物価高を受けた中で、日常生活の維持及び市内企業等における影響の抑制、所得向上の実現など、国の政策と歩調を合わせながら機動的な対策を進める必要があります。また、地球規模の課題である気候変動問題や人口減少などにより、日常生活及び地域経済の双方における問題が顕在化し続けており、これらの解決に向けては、広範で複合的な要素と取組みが求められ、従来制度、仕組み、手法を改めて見直すとともに、市内で生活、関係する方々が将来に期待が持てるようなまちづくりを進めていく必要があります。これらを踏まえ、令和6年度の事業の検討及び構築に当たっては、多様な人材の活躍推進、デジタル化の深化、脱炭素社会の推進を視点としながら、引き続き「未来に向けた笠間市づくり」を重点課題として設定し、課題への機動的な対応とともに、公民連携の強化をはじめ、従来仕組みの見直しに挑戦しながら、笠間市の将来に向けた成長と持続に資する取組みを強力に推進してまいります。

### ○主な重要事務事業

SDGs…貧困や不平等、気候変動など、地球全体に関わるあらゆる問題を解決し、持続可能な社会へ変えていくため、2015年国連で定められた17項目の持続可能な開発目標。  
笠間市でも今年度の重点プロジェクトにSDGsの考え方を取り入れ、推進を図っていきます。

## 《 笠間強靱化の推進 》

### 防災・災害回復力の強化

東日本大震災で被災した本市においては、地震等に対する拠点避難所の整備、原子力災害対策、地域における自主防災組織の設置促進や新たに内水被害対策などを総合的に進めてきましたが、能登半島での大地震発生に伴い、改めて発生を防ぐことが困難な自然災害に対する備えの重要性が認識され、これまでの災害対策の見直しとともに、防災・災害回復力の強化に向けた事業を実施します。

1, 356, 080千円

#### 防災対策の見直しと強化

災害対応力強化事業【新規：国補助】	14,539千円
災害対策事業【拡充：市単独】	8,478千円
防災訓練事業【継続：市単独】	100千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・UPZ内の区長を対象とした原発事故に対応した避難訓練を新たに実施</li> <li>・拠点避難所の拡大（6カ所→8カ所）をはじめとした避難所の機能強化と被災者の生命保護を目的とした福祉避難所用プライベートテント、止水板等の資機材の再配備</li> <li>・ハザードマップの更新や備蓄品の拡充</li> </ul>	
災害対応力強化事業【新規：市単独】	11,968千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の悪路走行に適した指揮広報車の更新、倒壊建物からの救出等を目的とした救助資機材の整備</li> </ul>	
在宅医療機器停電時対応事業【新規】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者等の災害時の対応強化</li> </ul>	
自主防災組織育成事業【拡充：市単独】	2,200千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災力向上に向けた自主防災組織の育成支援の拡充</li> </ul>	
災害時支援員登録制度【新規】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害時に、被災者支援などに協力していただける公的機関OB等の事前登録制度の創設</li> </ul>	



#### 都市基盤の強靱化と体制の強化

災害時の拠点となる消防署、救急機能の強化をはじめ、災害対策の観点からも重要となるインフラの老朽化対策、新規の都市基盤整備、有事の際に災害対策にあたる職員間の連絡基盤の強化を一体的に実施

岩間消防署整備事業【継続：市単独】	221,953千円
非常備消防車両等更新事業【継続：市単独】	26,871千円
救急高度化推進事業【継続：市単独】	2,562千円
無電柱化事業【新規：市単独】	8,800千円
橋梁メンテナンス事業【継続：国補助】	193,225千円
舗装修繕事業【継続：国補助】	82,400千円
笠間PAスマートIC整備事業【拡充：国補助】	617,742千円
（仮称）鯉淵南友部線整備事業【拡充：国補助】	117,100千円
ビジネスチャット構築事業【拡充：市単独】	3,068千円



## 地域災害対応・防災力の強靱化

新規  
拡充

今後起こりうる災害、特に水害や地震災害に備え、これまでの対策から更に一步踏み込んだ地域の災害対応・防災力の強靱化を図ります。避難所や自主防災組織の資機材の充実など防災力の強化に努めるとともに、太陽光発電・蓄電システムの導入による災害時の電源確保を図ります。また停電時の在宅医療機器の電源を確保し、地域災害対応・防災力の強靱化につなげます。

○在宅医療機器停電時対応事業外3事業

69,317千円



## 《 重要プロジェクト 》

### 重要プロジェクト(1) 笠間まるごと「子育て都市」宣言プロジェクト Stage2

令和6年度は「笠間まるごと子育て都市Stage2」として、「安心子育て都市づくり」「子育て生活徹底応援」として、切れ目ない支援を展開する体制の強化をはじめ、全分野一体となった施策の展開を図ります。

523,805千円

#### 安心子育て都市づくり

医療・福祉支援	
子育て世帯訪問支援事業【新規：国県補助】	2,314千円
要支援児童、ヤングケアラー等の訪問による家事・養育支援	
親子関係形成支援事業【新規：国県補助】	589千円
親子間の適正な関係性の構築に向けたペアトレーニングの実施	
医療的ケア児保育支援事業【継続：国県補助】	683千円
医療的ケア児学校訪問看護事業【拡充：国補助】	7,119千円
保育園・学校等における医療的ケア児の看護体制を構築 外、市立病院において医療的ケア児対応看護師を養成【市単独】	
母子保健事業（相談体制の強化）【拡充：県補助】	811千円
専門職による離乳食後期の支援、心理相談機会の拡充	
こども誰でも通園事業【新規：国補助】	10,021千円
未就園児の定期的預かりによる育児負担の軽減	
体制の強化	
こども部の設置	包括的で切れ目ない支援を提供する体制強化 (こども政策課、こども福祉課、こども育成支援センター)
子ども家庭総合支援拠点事業【拡充：国補助】	7,805千円
女性相談支援員の配置による課題を抱える女性への支援の実施	
保幼小中特別支援連携事業【新規：市単独】	10,298千円
特別支援連携コーディネーター2名の配置による発達段階に 応じた支援の連続性の確保	
子育て支援ふるさと納税の推進	財源確保と地域全体の機運醸成

#### 子育て生活徹底応援【本格実施】

妊娠・出産	
出産・子育て応援事業【継続：国県補助】	38,379千円
妊娠(50千円/人)・出産(50千円/人)時の給付	
在宅育児応援事業【継続：市単独】	5,000千円
妊娠・出産による離職等をした在宅子育て世帯を支援 (200千円/人)	
出産・子育て支援事業(国保)【継続：国県補助】	20,509千円
出産育児一時金支給(500千円/人) 産前産後期間の保険税減免(500千円)	
小学校入学	
エコランドセル・プレゼント事業【継続：市単独】	12,012千円
スマートで軽いランドセル(PETボトル再生繊維)を支給	
中学校入学	
制服等購入費支援事業【継続：市単独】	18,600千円
制服購入費(30千円/人)を支援	
小・中共通	
第三子給食費無償化事業【継続：市単独】	18,524千円
小・中学校における第三子以降の給食費を無償化	
学校給食費負担軽減事業【継続：市単独】	34,012千円
材料・燃料高騰等の影響がある中で給食費の現状を維持	
オーガニック給食推進事業【継続：市単独】	2,130千円
学校給食における地産地消によるオーガニック給食の提供 (モデル校：北川根小学校、穴戸小学校)	
高校進学等	
高校生等生活応援事業【継続：市単独】	33,000千円
新たな生活の準備費(50千円/人)を支援	

## 幼児保育・教育環境の構築

新規  
拡充

子ども一人一人に寄り添った支援を行い、子育ての負担軽減を図るとともに、安心・安全な保育サービスの提供のために保育人材の確保と離職防止のための事業を展開し、子どもを安心して生み育てられる幼児保育・教育環境を構築します。

○子ども誰でも通園事業外9事業



2,040,498千円

～すべての子育て世帯を対象とした保育の拡充～  
子ども誰でも通園事業



## 切れ目のない 包括的支援体制の構築

新規  
拡充

複雑化・複合化する課題に対応するため、児童福祉分野と母子保健分野で構築してきた相談支援体制を一体化し、すべての妊産婦・子育て世帯・こどもの切れ目のない包括的な相談支援体制を構築します。妊娠前・妊娠期・出産・子育て各場面における経済的負担に対して、各種助成事業を行います。相談支援体制及び経済的支援の強化を図り、より安心して子どもを産み育てやすい環境を整えます。

○子育て世帯訪問支援事業外14事業



352,899千円



各相談支援事業



離乳食教室



## 子育て費用応援の強化

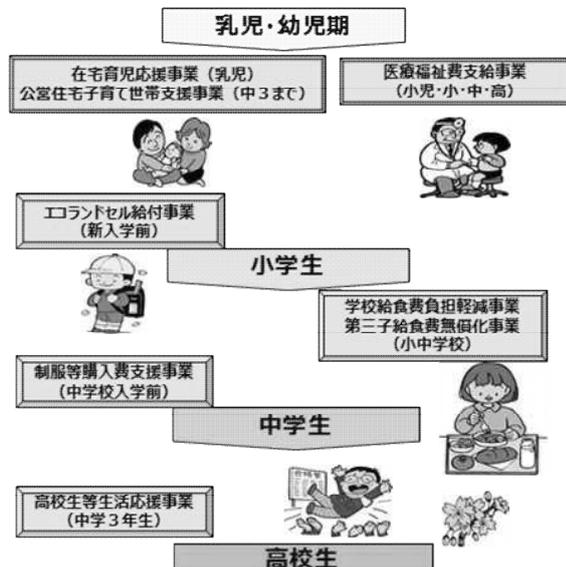
少子化が進む中、安心して子どもを育てやすい環境の更なる向上を図っていくことが重要です。

就学前から高校進学等までの子育て期における各場面において、経済的負担軽減を図るため、各種助成の支援を行っていきます。

○在宅育児応援事業外7事業



185,964千円



## 笠間版ハイブリッド型 デジタル教育の強化

対面授業とクラウドを活用した「笠間版ハイブリッド型デジタル教育」による、児童生徒一人一人に「個別最適化された学び」、情報化社会に即した情報モラル教育を推進します。

○GIGAスクール運営事業外2事業



126,207千円



## 笠間っ子学力・運動能力の 向上事業

新規  
拡充



○グローバル人材育成事業外6事業

148,951千円

これから到来する複雑で予測困難な時代を生きるためには、正しく柔軟に適応できる力が求められていることから、次世代を担う子どもたちがそうした力を身に付けるため、スペシャリストによる学びの場の提供を行うことで、社会の変化に主体的に向き合えるグローバルな人材育成を推進します。

## 寄り添う教育・指導の強化

新規  
拡充



○保幼小中特別支援連携事業外6事業

157,795千円

義務教育段階における児童生徒の多様化する教育的ニーズに対応するため、特別支援連携コーディネーターを配置し、特別支援教育の充実を図っていくなど体制を強化します。また、不登校児童生徒の居場所づくりや学びの場の提供をするため、校内フリースクール事業等を展開し、体制の整備を進めます。

## 重要プロジェクト（2） 地域の稼ぐ力 強化プロジェクト

担い手の不足などにより地域経済は将来に向けて厳しさが増すことが想定されることから、農業を含めた地場産業、観光産業、企業及び宿泊施設の誘致促進を図り、地域経済の基盤と稼ぐ力の強化を図ります。

223,366千円

### 笠間ブランドの強化

#### 笠間の栗

生産、加工、販売、改善まで、それぞれの関係者との連携の下で、一体的な強化を図り、儲かる笠間の栗産地づくりを推進

栗ブランド推進事業【継続：市単独】	25,566千円
笠間の栗プロモーション事業【継続：市単独】	4,280千円
日本一の栗産地づくり推進補助事業【継続：市単独】	15,930千円

#### 笠間の米・野菜

令和5年度に開始したブランディングの強化

地場農産物振興拡大事業【継続：市単独】	3,740千円
有機農業推進事業【新規：市単独】	1,000千円

#### 笠間観光

イベントや台湾交流によって増加傾向にある来訪者のリピーター化、新規来訪者の獲得による地域経済への好影響をもたらす観光都市づくりを推進

台湾交流事業【継続：市単独】	1,657千円
観光戦略推進事業【継続：市単独】	2,394千円
アフターDC事業【継続：市単独】	110千円

#### 笠間焼・福田みかげ石

ファンの獲得、知名度の向上にも資する笠間焼、福田みかげ石の技術伝承、人材育成、販路確保策を推進

地場産業支援事業（笠間焼・福田みかげ石）【継続：市単独】 20,422千円

### 産業基盤づくりの推進

#### 企業誘致・支援

企業誘致推進・立地促進事業【継続：市単独】 145,205千円

安居工業地域をはじめとした工業地域への誘致、立地企業の支援強化

## 観光誘客力の強化

新規  
拡充

大規模イベントへの支援や、菊まつりの更なる発展のため菊栽培所の設備整備を実施します。また、台湾を中心としたインバウンド誘客の促進や茨城DCでの盛り上がりや定着化させ、活性化できるよう関係機関と連携して国内外の観光誘客を促進します。



○市内誘客促進イベント支援事業外4事業

66,299千円



【設備整備を行う菊栽培所】



【門前通りを散策する外国人観光客】



【アフターDCの企画】



【菊まつりに訪れた台湾人観光客】

## 儲かる「笠間の栗」産地づくりの推進

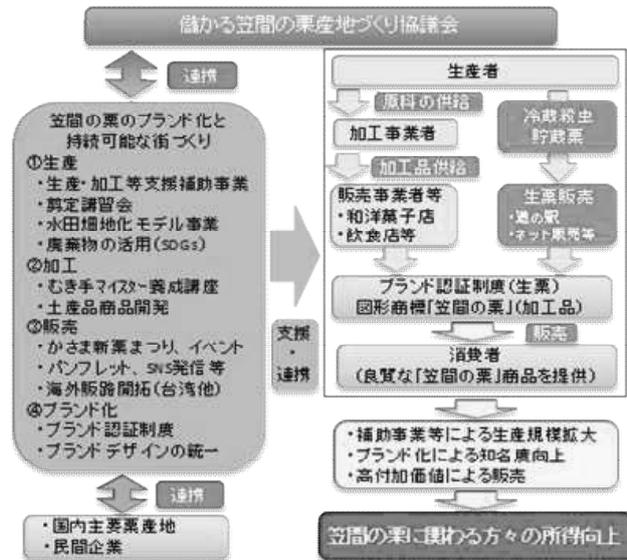
「笠間の栗」の生産規模拡大を重点においた補助事業や作業省力化等の機械導入、新たな加工事業に取り組む生産者への支援を行っていきます。また、「儲かる笠間の栗産地づくり協議会」を中心にかさま新栗まつりの開催や都内でのイベント参加、パンフレットによる市内誘客、SNSによる情報発信等のPR活動を実施していきます。

海外への輸出は、台湾台北市内の有名ホテルと引き続き連携を行い、新たに台湾学校給食への「笠間の栗」の提供を目指し、台湾国内の菓子店へもPRすることで、「笠間の栗」を使用した商品化に向けた取組みを進めます。



○地場農産物振興拡大事業外2事業

45,776千円



## 水田の畑地転換・整備促進による農業基盤の強化

新規  
拡充

近年の担い手の減少や農作物の価格低下などにより耕作放棄地が増えている状況を受け、水田を畑地化し、高収益作物に転換することにより、農業所得の向上が図られることが見込まれることから、「笠間の栗」の生産拡大を推進するためモデル整備事業を実施します。



○「笠間の栗」水田畑地化モデル事業外6事業

203,144千円

## 農業生産環境・担い手確保の強化

新規

農業を取り巻く状況は、生産者の減少や高齢化の進行など生産基盤がぜい弱化し、また、地球温暖化や異常な気候変動に伴う農産物の品質低下が顕在化しています。「環境にやさしい農業」を推進し、持続可能な農業の実現に加え、今後市場の拡大が見込まれる高付加価値な有機農産加工品の創出と販路拡大を推進します。



○有機農業推進事業外6事業

41,132千円

# 重要プロジェクト（3） 女性・若者活躍促進プロジェクト

令和5年度の重点プロジェクトとして位置づけた「かさまち娘応援プロジェクト」を、市内企業等とも連携しながら強化を図る「女性・若者活躍促進プロジェクト」を展開します。

17,438千円

## 人材育成と伴走型支援の強化

### 女性活躍総合サポートセンターの設置【新規】

キラリかさまち女性総合応援窓口を強化し、女性からの相談内容を聞き取りハローワークと連携した就業情報の提供強化と各分野にまたがる制度や事業を伴走型で紹介、相談を担うサポートセンターとして、総務課に拡充設置

### 女性・若者インターンモデル事業【新規：市単独】

600千円  
市内高校及び県内大学、市内企業等（タイパシティ経営宣言等）との連携による就業につながる有償インターンモデル事業の実施



### 頑張る女性応援事業（資格取得支援）【継続：市単独】

2,175千円  
就職や仕事のスキルアップを図ることを目的とした、資格や技術を取得するための講座等受講費用の一部を助成

### 保育士人材確保事業【新規：市単独】

2,060千円  
保育士等として採用された方への就職準備金（200千円/人）の支給

### 創業支援事業【拡充：市単独】

2,461千円  
市内での創業支援補助への女性枠を制度化し、専門家による支援を実施

### 地域活躍人材育成事業【新規：市単独】

3,938千円  
市内企業等で活躍できる事業責任者、市内の起業家育成を目指した経営企画からリスク管理まで、実務型の人材育成講座の実施



## 創業・就業・地域内産業の 持続性強化

### 拡充

物価高騰と最低賃金の上昇は企業の経営を圧迫し、市内の有効求人倍率は減少している一方で、労働力不足となる企業も多いため、高卒採用を含め、求職者と企業の更なるマッチング機会の確保を行います。また、女性が活躍するための資格取得や伴走型の創業支援を実施します。さらに市内事業所のもつ技術力や製品、人材を把握し、地元企業の事業承継支援を推進します。



○雇用対策支援事業外6事業

31,425千円

### 雇用対策支援

### 経営課題解決支援

### 創業支援

### 事業承継支援



ビジネスのライフサイクル全体を支援することで、経済の健全な成長と発展を支える。

## 《その他 主な重要事務事業》

### 【都市基盤】

## 住みたくなる 「まちなか創生」事業

### 新規 拡充

コンパクトで持続可能なまちづくりを推進するため、市街地の渋滞緩和対策や地場産材を活用した空間らしい暮らしや景観を形成するための既存支援制度の拡充を行い、まちなかへの居住を誘導します。あわせて、公民連携により魅力ある居心地のよい空間の「まちなか」の空間イメージをつくり、住みたくなる「まちなか」づくりを促進します。



○友部駅前魅力向上事業外5事業

148,800千円

### 友部駅前魅力向上事業

- 魅力ある店舗の誘致
- チャレンジショップ運営支援

### （仮称）鯉淵南友部線整備

- 市街地の渋滞緩和
- 交通の利便性向上

### 宅地創出促進補助事業

- まちなかへの居住を誘導
- 市街地の低未利用地の活用を促進



### 住みたくなる「まちなか」 空間イメージづくり



### 建設業振興・地場産材活用促進

- 地場産材を活用した空間らしいまちなか形成
- 快適な住環境や魅力ある店舗の整備

## 持続する公共交通モデルの構築



○公共交通対策事業外 4 事業  
249,671千円

デマンドタクシーのサービス向上に向けた取り組みや、シェアサイクルなどのパーソナルモビリティの推進などを中心として、民間企業による事業との連携を図りながら、IT技術等を取り入れたデジタル交通の構築や環境負荷低減型モビリティの導入などについて研究し、事業者と利用者の双方に資する、持続性のある公共交通網の再編に向けた取り組みを推進します。

## 空家・空地問題の解消促進

拡充



○空家政策推進事業外 1 事業  
40,068千円

法改正に伴い、本市でも、空家等への対策を強化していくほか、利活用できる空家・空地の流通を促進させるため、更なる笠間市空家・空地バンク制度の充実を図るとともに、空家サブリース事業により流通しにくい空家の利活用を図り、空家問題の解消促進を図ります。

## 交流拠点機能の強化

新規  
拡充



○笠間工芸の丘整備事業外 2 事業  
368,885千円

アフターコロナにおいて市外からの来訪者の増加や再来訪につながる取り組みが必要となっていることから、「笠間クラインガルテン」については、大規模改修や修繕による拠点の交流機能の強化、あたご天狗の森公園については、あたごフォレストハウス内に新設した飲食スペースや展望デッキなどを活用し、愛宕山地域全体の更なる賑わいの創出に取り組みます。

# 【生活環境】

## 脱炭素先進都市の形成

新規



○脱炭素推進事業  
55,745千円

市域の温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、市民や事業者との更なる連携強化を図りながら地域脱炭素の早期実現に向けた取り組みを推進します。

また、住宅や事業所の省エネ化や再エネ導入、地域コミュニティの強化、地域産業の振興などと合わせて、地域課題の解決につながる脱炭素の取り組みを先行的に実行する地域を創出するとともに、市内全域に脱炭素を波及させることで、地域脱炭素の早期実現を達成する「脱炭素先進都市」の形成を目指していきます。



## 資源循環型地域づくりの促進



○清掃施設建設事業外 2 事業  
469,415千円

本市のごみ処理を行っている笠間市環境センターの老朽化への対応が課題となっていることを踏まえ、令和6年度からは施設の整備や運営に係る発注仕様書の作成や事業者の選定などを行うアドバイザー業務を進めます。また、資源物回収に取り組む地域団体への助成や、各家庭から排出される生ごみの減量化への支援等を通じ、資源循環型社会の形成を推進します。

## 【 健康・福祉 】

### 健やかな暮らしを支える 保健医療の充実

新規  
拡充

休日・平日夜間救急診療を実施し、地域医療の充実を図るとともに、がん患者の自分らしい暮らしを支援します。

また、生活習慣病予防やがんの早期発見のための各種検診、ライフステージに応じた健康相談やヘルスリーダーとの協働による食育推進事業等を実施します。



○地域医療対策事業外 8 事業  
118,848千円



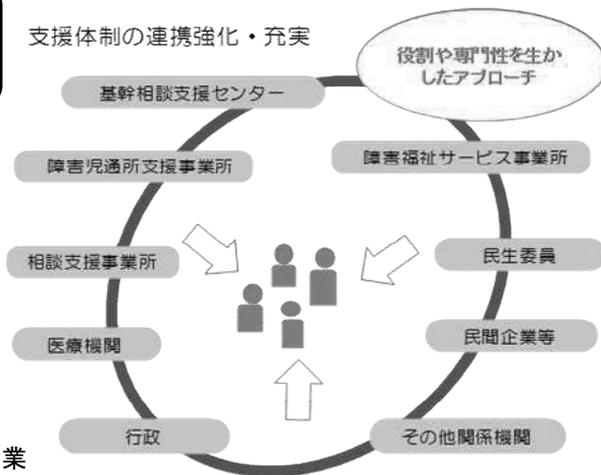
### 課題を抱える方への支援体制の 連携強化・充実

新規  
拡充

「障がい者相談支援体制の強化」や「ひきこもりサポート事業」など、きめ細やかな取組みと併せ、関係機関との連携強化や、それぞれが、その役割や専門性を生かした、伴走型の支援体制を充実することにより、様々な課題を抱える方々がいつまでも安心して暮らしていける地域づくりを進めます。



○ひきこもりサポート事業外 6 事業  
140,133千円



## 【 教育・文化 】

### 「スポーツシティ かさま」の 強化事業

拡充

笠間市のスポーツ資源や特徴ある観光資源を活かし、スポーツの力で地域の諸課題の解決につなげる「スポーツ健康まちづくり」に取り組んでいきます。

また、スポーツのまちとして、本市のイメージアップと認知度向上につなげるため、(一社)笠間スポーツコミッションを核とし、地域経済の活性化に向け「スポーツシティかさま」を推進します。



○かさま陶芸の里ハーフマラソン大会外  
41,222千円

**(一社)笠間スポーツコミッション**  
人材育成／イベントの開催／市民の健康増進  
大会・合宿の誘致／スポーツツーリズムなど  
**スポーツの力による地域活性化**



**パラスポーツ啓発事業**  
茨城県民球団との連携(車いすソフトボール大会)  
**かさま陶芸の里ハーフマラソン大会事業**  
スポーツと観光資源の魅力向上  
**スポーツ国際交流事業**  
台湾小学生スナックゴルフの普及推進  
台湾留学生等交流会



**スポーツシティかさま**

# 【 地 域 づ く り 】

## 行政区・地域コミュニティの再生



○行政区加入促進事業外3事業  
145,436千円

「笠間市行政区への加入及び参加を促進する条例」に基づき、行政区への加入促進に努めるとともに、行政運営のアドバイザーを派遣するなどし、加入促進の弊害となっている行政区の課題解決を図ります。また地域コミュニティ活動やNPO法人などの市民活動に対する支援、活動拠点となる地域交流センターの管理運営、地区集会所への整備補助など、地域活性化の促進を図り、誰もが共に支えあい、安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指します。

## 笠間版デジタル田園都市構想の推進

居住段階となった生涯活躍のまちの形成を継続的に取り組むとともに、デジタル技術の活用による市民生活に密着したサービス向上を図る福原地区をモデル地区とするデジタル田園都市の形成を、スマートシティ形成の取組みと連動して推進します。

○笠間版デジタル田園都市形成事業外1事業



39,301千円



## ダイバーシティ都市づくりの推進

新規  
拡充



○多様な生き方支援事業外4事業  
19,967千円

多様な人々が個々の価値観に応じた生き方やライフスタイルを選択でき、暮らしていけるような社会の実現を目指し、ダイバーシティに関する正しい認識を深めるための意識啓発やグローバル人材の育成を図ります。

# 【 自 治 体 運 営 】

## デジタル・トランスフォーメーションの推進

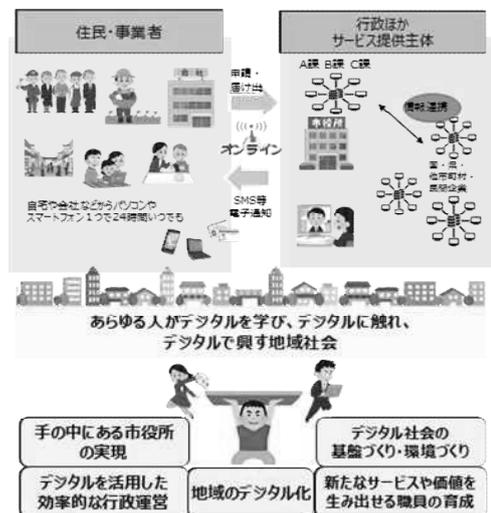
新規  
拡充

「笠間市第2次デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」に基づき、新たなサービスや価値を生み出せる職員の育成を重点とし、DXの取組みを更に進めデジタル社会の実現に努めます。

○デジタル推進事業外14事業



127,153千円



# Ⅲ. 各会計の予算額

～ 令和6年度予算について～

## 一般会計

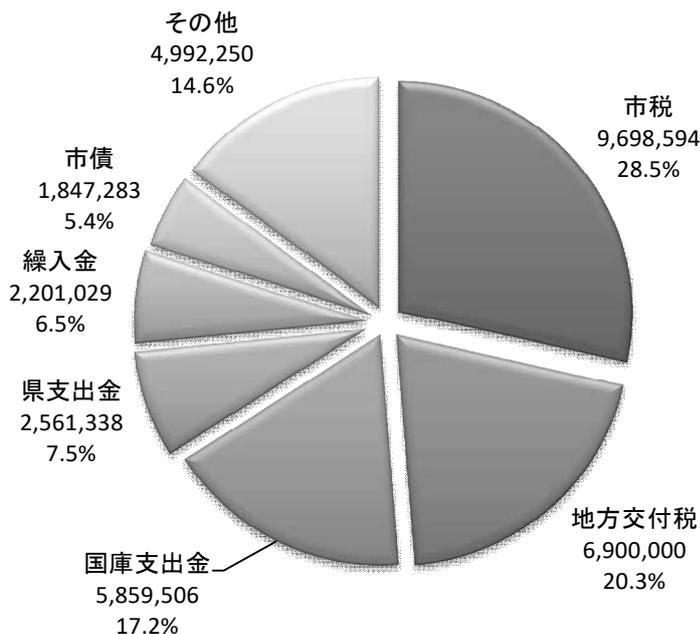
特別会計や企業会計に属さない財政を包括的、一般的に経理する会計です。市税等を財源として、福祉、土木、教育、衛生など多岐にわたり事業を行います。

令和6年度予算は340億6,000万円  
前年度比7億9,000万円増

### ○歳入予算

歳入とは、いわゆる『収入』のことです。1年間のうちに見込まれる収入が計上されています。笠間市においては、「市税」が約97億円で最も多い割合を占めています。次いで、地方交付税は69億円、国庫支出金と県支出金を合わせて約84億円を見込んでいます。

《 歳入予算内訳（千円） 》



区 分	主 な 内 容
市 税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	国で一括徴収した税金を地方自治体に分配するものです。
国庫支出金 (国からの歳入)	国からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
県支出金 (県からの歳入)	県からの補助金・負担金などです。特定の事業に使います。
繰 入 金	主に基金の取崩金です。目的に沿って使います。
市 債	事業を進めるために国や金融機関から借り入れるお金です。
そ の 他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

### 一口メモ② 『予算って、そもそも何??』

予算は、1年間（4月から翌年の3月まで）の収入と支出の計画を作ることなんだ。どれくらいの収入が見込まれて、どれくらいの行政サービスができるかを計算した計画書みたいなものだよ。

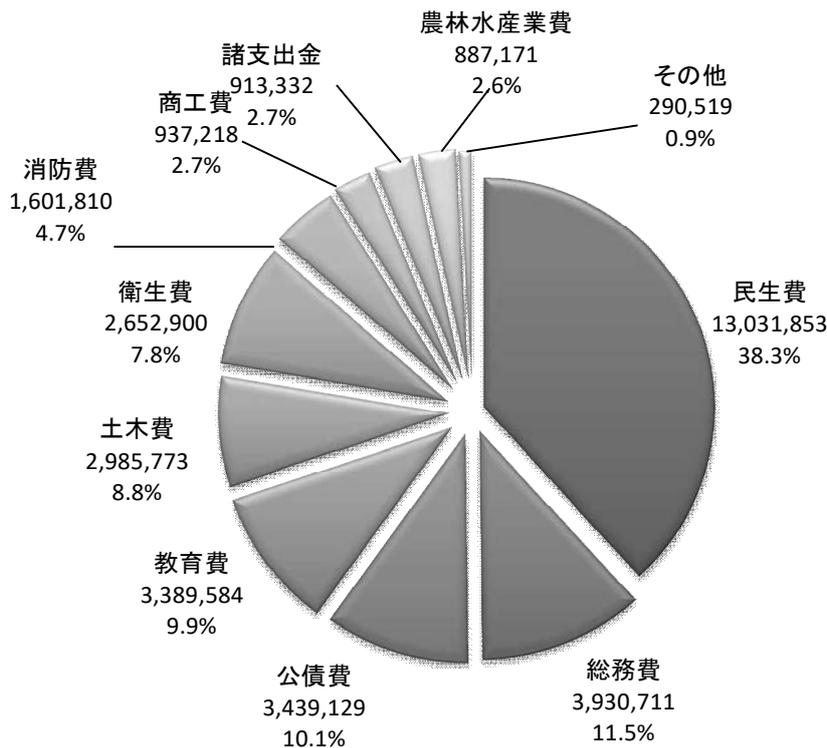
やりたいことを、どんどんやっていって、『気が付いたらお金が無い』なんてことにならないように、事前に計画しているんだ。

だから、予算額以上のお金は使えないようになってるんだよ。

## ○歳出予算

歳出とは、いわゆる『支出』のことです。1年間のうちに見込まれる支出が計上されています。予算書には、それらがどのような目的に使われるかという『目的別』に区分され、記載されています。これにより、どのような目的にどのくらい事業費がかかる見込みなのかがわかります。

《 歳出予算内訳【目的別】（千円） 》



どんな行政サービスに、どのくらい事業費を見込んでいるのかわかるよ。笠間市は福祉のための事業費（民生費）が1番多いよ。今年度は、障害者自立支援給付事業費や児童手当などが増えているよ。



区分	主な内容
民生費	社会福祉、児童福祉、生活保護などの事業費です。
総務費	庁舎の維持管理、広報紙発行、選挙などの事業費です。
公債費	借入金を返済する事業費です。
教育費	学校・図書館などの事業費、スポーツ大会などの事業費です。
土木費	道路・公園などの整備・管理などの事業費です。
衛生費	各種健診・予防接種、環境対策、ごみ収集などの事業費です。
消防費	火災や台風などの防災活動事業費です。
商工費	商工業の振興や観光事業を推進するための事業費です。
諸支出金	病院事業や下水道事業等への支出金です。
農林水産業費	農業や林業の振興のための事業費です。
その他	議会運営費や不測の事態に備えた予備費等です。

### ー口メモ③ 『予算って、誰が決めているの??』

予算は、市長が案を作って市議会に提出するんだ。そこでいろいろな審議・議論がされて、決定されるんだよ。

# 国民健康保険特別会計

病気やけがをした時に安心して治療を受けられるように、加入者がお互いに助け合う『国民健康保険制度』を運営するための会計です。

職場の健康保険に加入していない方などが世帯ごとに加入します。



令和6年度予算は75億5,300万円  
前年度比2,700万円増

今年度は、歳出では、県への国民健康保険事業費納付金が増えています。

主な事業として、生活習慣病を予防する特定健康診査受診率向上のため、AIを活用した受診勧奨を実施しています。

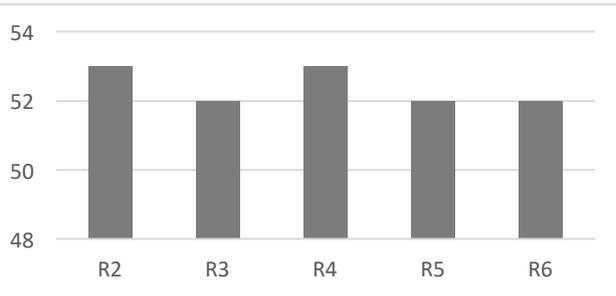


被保険者は約17,000人を見込んでいて、そのうち約5割が前期高齢者(65歳~74歳)になってるよ。

1人当たりの保険給付費は年間約31万円だよ。

【保険給付費の推移】

(単位：億円)



## ○主な事業

### 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病の重症化を予防するため、治療中断者や未治療者に対する受診勧奨や通院中の方への保健指導プログラムを行います。

7,723千円

# 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者(75歳以上)が安心して治療を受けられるように、後期高齢者と若年者とで支える『後期高齢者医療制度』を運営するための会計です。



令和6年度予算は12億1,400万円  
前年度比1億3,700万円増

今年度は、被保険者の増加に伴い、保険給付を行っている後期高齢者医療広域連合への納付金の増額を見込んでいます。

## 介護保険特別会計

介護が必要な方を社会全体で支え合う「介護保険制度」や「介護予防事業」を運営するための会計です。

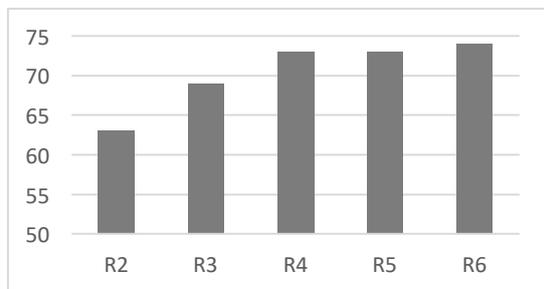
現在、40歳以上の方が加入者となり、要介護者や要支援者等を支えています。



令和6年度予算は78億8,100万円  
前年度比1億2,900万円増

高齢者が元気で健やかに年齢を重ねられるよう、地域の様々な専門職と連携しながら、介護予防や介護の重度化予防を意識した取り組みを継続します。

【保険給付費の推移】 (単位：億円)



介護保険のサービスを利用するには、まず要介護（要支援）認定の申請が必要なんだ。  
今年度の認定者は、約4,100人を見込んでいるよ。  
1人当たりの給付費は約180万円なんだ。

### ○主な事業（保険給付費以外）

#### 訪問・通所サービス事業

要支援者及び事業対象者が利用できる「介護予防・生活支援サービス事業（総合事業）」を実施します。（ふれあいサポート事業、いきいき通所事業、ふれあいサロン事業、元気すこやか教室事業等）

162,542千円

#### 日常生活支援サービス基盤整備事業

各地区に生活支援コーディネーターを配置し、関係者間の情報共有、地域の支援ニーズとサービスのマッチングを行い、地域で支え合う体制づくりを推進していきます。

15,252千円

## 介護サービス事業特別会計

予防給付や介護予防サービス利用のための計画書（ケアプラン）を作成し、介護予防と自立支援のためのサービス調整を行います。計画書作成料を主な収入としています。



令和6年度予算は2,100万円  
前年度比100万円減

今年度は、計画書作成件数を4,320件で見込んでいます。

# 病院事業会計

笠間市における公衆衛生の向上及び増進に寄与し、地域医療を確保するために設置された市立病院を運営するための会計です。

入院外来診療収益等によって病院事業費用をまかなう『収益的収支』と一般会計からの出資金等によって医療機器の購入費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。

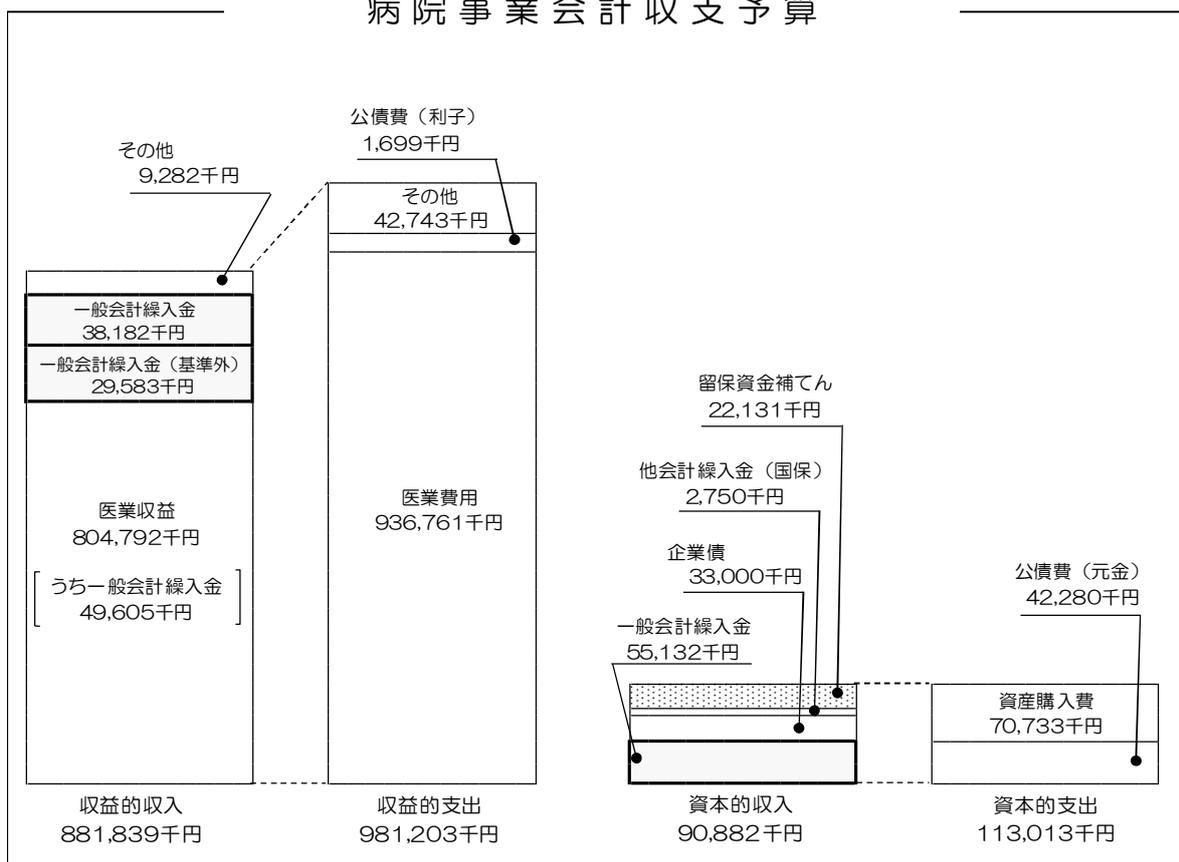
令和6年度支出予算は10億9,421万6千円  
前年度比4,059万4千円増

笠間市立病院は、訪問看護ステーションかさま、ケアプランセンターかさま及び病児保育室が併設されています。

市立病院は、積極的に在宅医療を推進しているよ！



## 病院事業会計収支予算



地域医療センターかさま

\*お問い合わせ 笠間市立病院 0296-77-0034

# 水道事業会計



安心安全な水道水を家庭に供給する水道事業を運営するための会計です。

水道料金によって水の供給に係る費用をまかなう『収益的収支』と企業債などによって建設費用をまかなう『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。

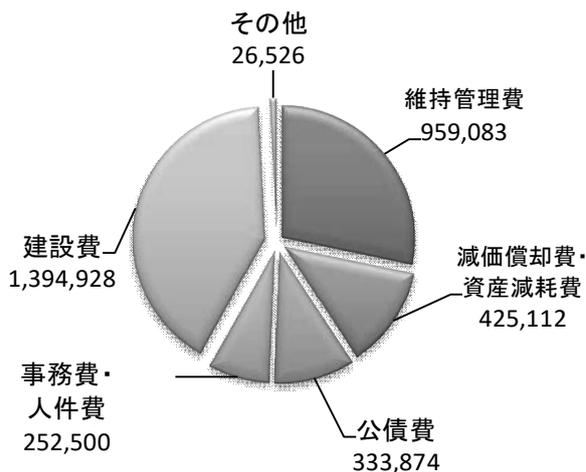
令和6年度支出予算は33億9,202万3千円  
前年度比9億7,618万5千円減

今年度は、7号井さく井工事の皆減や穴戸浄水場の更新に係る費用の減額などにより減額となっています。  
また、引き続き、老朽管更新工事を実施します。

## ○令和6年度業務予定量

給水件数	27,484 件	
年間総給水量	6,768,014 m <sup>3</sup>	
一日平均給水量	18,543 m <sup>3</sup>	
建設改良事業	事務費	8,085 千円
	施設改良費	1,394,928 千円

## ○歳出内訳 (千円)



年間給水量は、約700万m<sup>3</sup>。  
東京ドーム約5.6個分もあるんだよ。



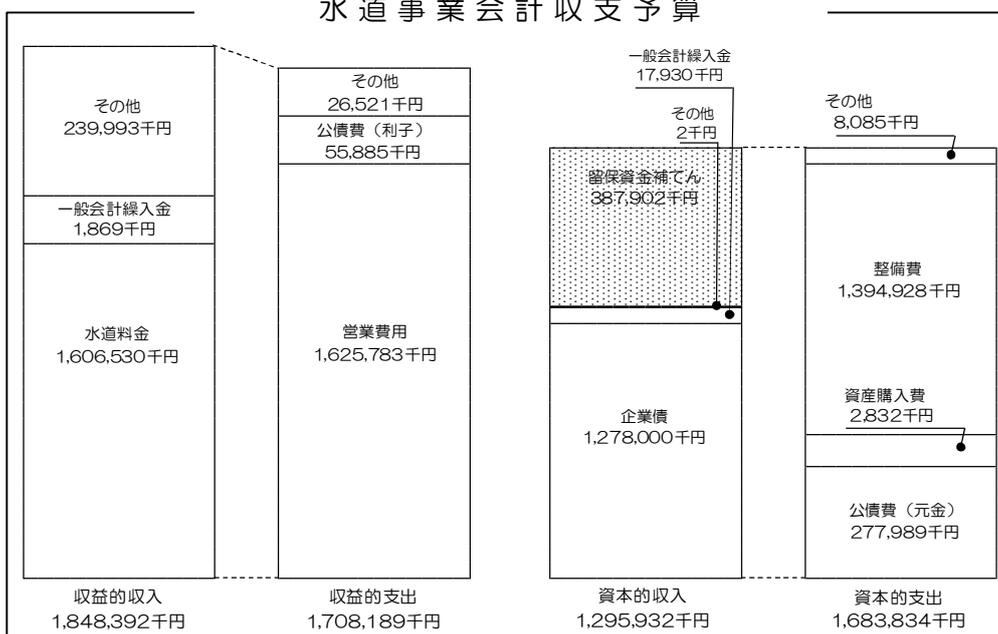
## ○主な事業

### 穴戸浄水場整備事業

水道事業第2次基本計画に基づき、老朽化した穴戸浄水場を更新するための更新工事を実施していきます。

268,020千円

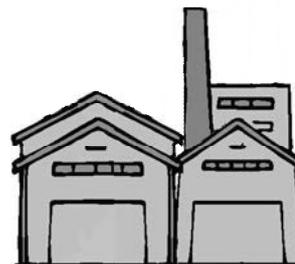
## 水道事業会計収支予算



# 工業用水道事業会計

岩間工業団地へ工業用水を供給する工業用水道事業を運営するための会計です。

水道事業会計と同じように、『収益的収支』と『資本的収支』とに分けて会計処理をしています。



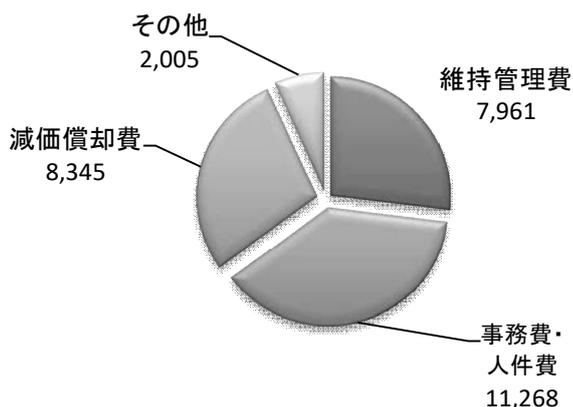
令和6年度支出予算は2,957万9千円  
前年度比110万7千円増

今年度は、包括業務委託負担金の皆増により増額となっています。

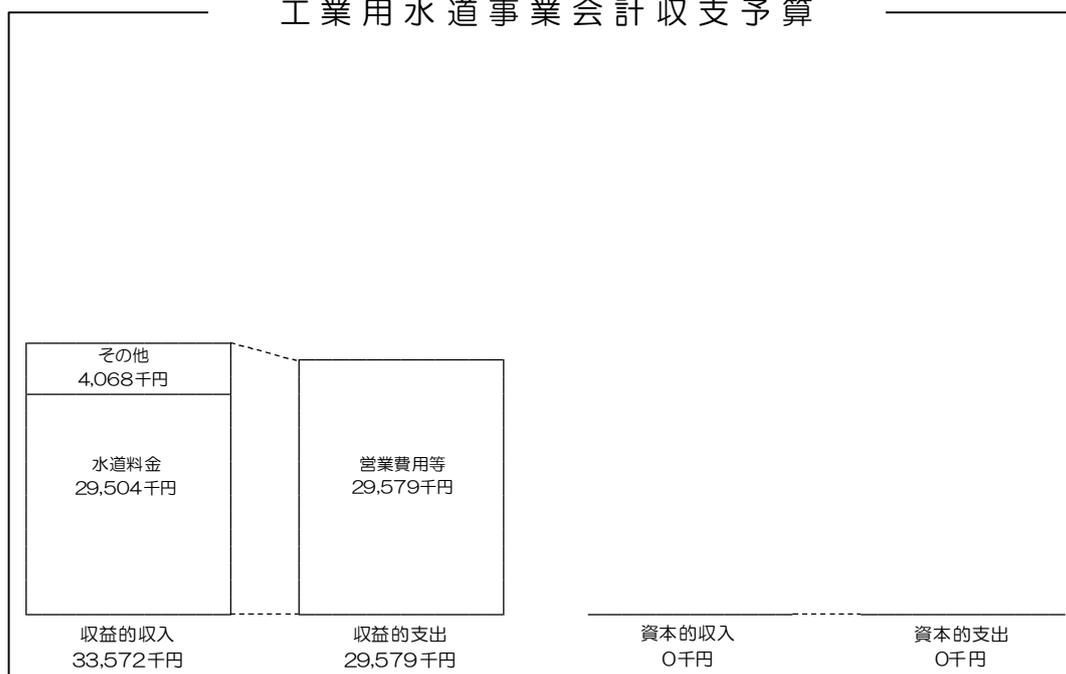
○令和6年度業務予定量

給水件数	4 件
年間総給水量	145,868 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	399 m <sup>3</sup>

○歳出内訳（千円）



## 工業用水道事業会計収支予算



# 下水道事業会計

台所やトイレなどから流した生活排水をきれいにする下水道事業を運営するための会計です。

下水道使用料などを財源に、施設の運営管理や下水道の整備、老朽化した施設の修繕や機器等の更新を行います。

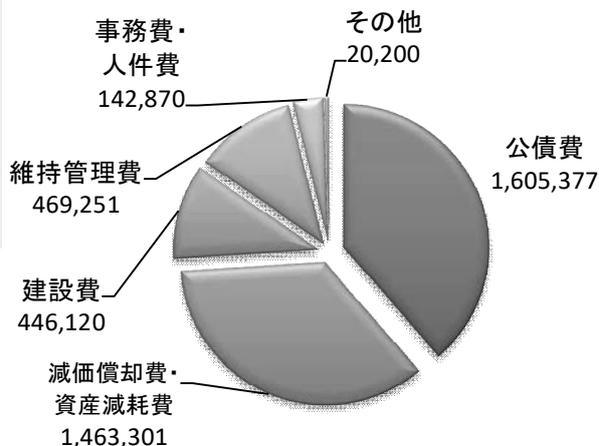


令和6年度支出予算は41億4,711万9千円  
前年度比7億6,948万8千円減

今年度は、浄化センターともべの更新に係る費用の皆減により、予算が減額となっています。

その他、管路施設の新設整備に加え、老朽化した管路及び農業集落排水施設の更新工事を行います。

○歳出内訳（千円）



## ○主な事業

### 下水道事業会計経営戦略改定業務

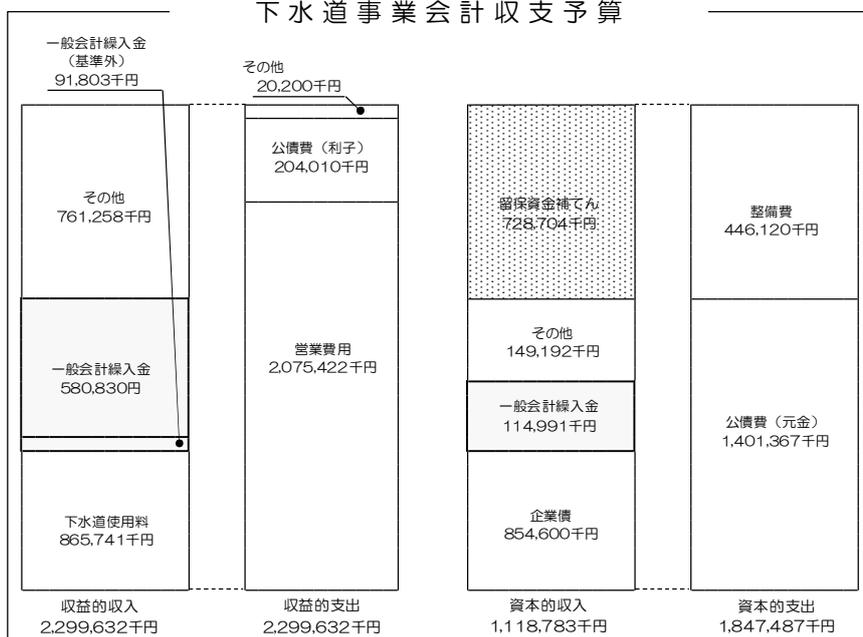
農業集落排水事業の地方公営企業法適用に伴い、公共下水道事業と会計を統合したことから、その決算結果を踏まえ、今後の下水道事業の収支等について計画する経営戦略を改定します。

9,702千円



公営企業会計の「発生主義」の考え方のもと減価償却費等を計上していません。公債費とともに大きな割合を占めているよ。

下水道事業会計収支予算



## IV. 基金の状況

令和6年度末現在高見込額は約156億9,300万円  
前年度比約20億2,500万円減

基金とは家計で例えると預貯金のようなものです。定めた目的のために、取り崩して（繰り入れて）使用することができます。

令和6年度は、一般会計の基金繰入金が約21億9,800万円となり、前年度当初の一般会計の基金繰入金と比べて約9,700万円の減となっています。減債基金等の繰入金が減となったため取崩予定額が減少しました。

また、元氣かさま応援基金の積立金の増等により、一般会計の積立予定額は約4億9,200万円となり、前年度当初の一般会計の積立予定額と比べて約1億2,000万円の増となっています。

### ○基金状況一覧

(単位：百万円)

会計区分	令和5年度末 現在高見込額	令和6年度		令和6年度末 現在高見込額
		取崩予定額	積立予定額	
一般会計	14,300	2,198	492	12,594
財政調整基金	6,934	980	1	5,955
減債基金	1,719	400	0	1,319
特定目的基金	5,647	818	491	5,320
土地開発基金	1,487	0	1	1,488
特別会計	1,931	328	8	1,611
国民健康保険 財政調整基金	1,133	328	0	805
介護給付費準備基金	798	0	8	806
合計	17,718	2,526	501	15,693

財政調整基金	年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金
減債基金	地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
特定目的基金	各種事業などの特定の目的のために設置された基金 (目的ごとに別々に設置)
土地開発基金	事業の円滑な執行を図るため、公共の用に供する土地などを取得するために設けられた基金

### 令和6年度

元氣かさま応援基金充当見込額は約1億7,000万円

### ○ふるさと納税

元氣かさま応援基金は、笠間市を応援してくださる方々からの「ふるさと納税」を積み立てて、寄附の目的に沿った事業の財源として活用しています。

ふるさと納税は、笠間市のまちづくりへの共感やふるさとへの思いを抱く人々の、まちづくりへの参加手法として、自治体へ寄附できる制度です。お寄せいただいた思いと寄附金は、各事業に大切に活用させていただきます。

皆様からの温かい応援をお待ちしています。

主な返礼品は  
こちらをご覧ください。



# V. 市債の状況

令和6年度の借入予定額は約40億1,300万円  
 令和6年度末現在高見込額は約497億6,600万円

『市債』とは、市が金融機関等から借り入れるお金のことです。事業を実施する資金として借り入れ、後年度に返済（償還）していきます。

令和6年度は、借入予定額が約40億1,300万円となり、前年度当初借入予定額に比べて約10億800万円減となっています。一般会計において防災対策として道路整備などに充てる緊急自然災害防止対策事業債、北川根小学校整備事業に充てる学校教育施設等整備事業債などが増となる一方、水道事業会計において穴戸浄水場更新事業に活用した上水道事業債が減となるため借入予定額が減となりました。

## ○市債状況一覧

(単位：百万円)

会計・市債区分	令和5年度末 現在高見込額	令和6年度		令和6年度末 現在高見込額
		借入予定額	元金償還予定額	
一般会計	29,105	1,847	3,360	27,592
合併特例債	13,154	1,038	1,632	12,560
臨時財政対策債	13,054	115	1,237	11,932
その他	2,897	694	491	3,100
病院事業会計	910	33	42	901
水道事業会計	4,316	1,278	278	5,316
下水道事業会計	16,503	855	1,401	15,957
合 計	50,834	4,013	5,081	49,766

## ○合併特例債の使い道

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

合併特例債は、対象事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、また、将来支払う返済金の70%が普通交付税によって措置されるという、他の地方債に比べて非常に有利な財源となっています。

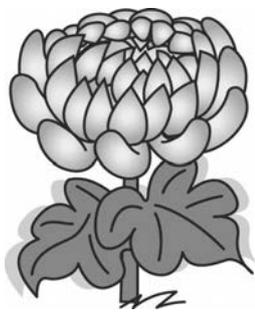
笠間市は、令和6年度までに、290億1,410万円（まちづくり振興基金を除くと273億2,310万円）の借り入れを予定しています。合併特例債（建設事業）には、借入可能上限額が定められていて、笠間市は約322億円（まちづくり振興基金積立分は含まない。）が上限となっており、発行可能残額は約49億円となる見込みです。

わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう  
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう  
歴史と文化を大切に、豊かでうるおいのあるまちにしよう  
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう  
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

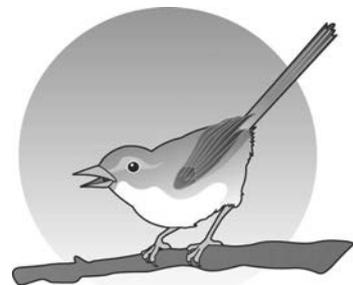
笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

令和6年度「わかりやすいかさまの予算」

令和6年3月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

TEL 0296-77-1101

URL [www.city.kasama.lg.jp](http://www.city.kasama.lg.jp)

力透